

改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
21220	資源循環部	清掃施設課	課長	勝又隆一	042-769-8246	
施策名	廃棄物の適正処理の推進					
施策の目的	環境に配慮し、廃棄物の適正な処理を行うため、一般廃棄物処理基本計画を基に、エネルギー等として可能な限り有効活用を図った上で、安定的かつ環境に配慮し、次のとおり進めている。 清掃工場の適正管理と計画的な整備、ダイオキシン類等有害物質削減対策、エネルギーの有効利用、焼却灰の再利用、最終処分場の計画的な整備					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・現在建設中の(仮称)南清掃工場について、計画に沿って整備を推進しています。(平成21年度完成予定) ・北清掃工場、南清掃工場及び津久井クリーンセンターについて、余熱により発電した電力を工場で利用するとともに、余った電力については売電をするなど、有効活用を図っています。 ・現在整備中の一般廃棄物最終処分場について、計画に沿って整備を推進しています。(平成19年度完成予定) 					
評価結果 (平成17年度実績評価)	1次評価	A	2次評価	B	3次評価	B
	3次評価での指摘事項等及び意見 (は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)					
	<p>合成指標でなく、各々の項目を指標化するなど、清掃施設課の活動の成果が市民にわかりやすく示せる指標を設定すること。</p> <p>施策評価の目的の一つである事業の選択と集中を行う上でも、事業の優先順位付けは、行うこと。</p> <p>合成指標の重みづけがわかりにくい。市民が見たときのわかりやすさが必要である。また、各々の項目を指標化することは考えられないか。</p> <p>合成指標は、恣意的になりやすく市民理解が得にくいのではないか。</p> <p>将来の課題としてゴミの有料化の問題があると思うが、有料化するにあたって市民に説明できるような指標が設定できれば、市民理解も進むのではないか。</p> <p>各施設におけるISOへの取組みを施策評価に盛り込んでみてはどうか。</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>施策評価シートに記載された成果・活動指標について見直しを図る。</p> <p>事業の優先順位付けをするための一定の基準の検討。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	成果・活動指標を見直す。改善時期は平成19年度中とする。 事業の優先順位付けが可能であるか検討する。時期は平成19年度中とする。		
	具体的な改善方策	成果・活動指標の見直しについては、合成指標を見直して、指標単位での評価を明確にする。 事業の優先順位付けが可能であるか検討する。		
	改善項目「指標の見直し」	実施の時期	平成19年度末までに	
		合成指標を見直して、指標単位での評価を明確にする。		
	改善項目「事業の優先順位付け」	実施の時期	平成19年度末までに	
優先順位付けが可能であるか検討する。				
改善項目「」	実施の時期	平成19年度末までに		
改善結果	改善目標の達成状況			
	評価及び今後の取組方針等			